

コンさる君の 今日も視界良好

⑤ 新型コロナを社風改善と社内の活性化 中小企業診断士 長尾 康行

皆さん、こんにちは。フラッグシップ経営代表、中小企業診断士の長尾です。2020年も後半に差し掛かりました。当社は12月決算ですので当社にとっても後半戦がスタートしました。後半も目標に向かって社員一丸となって頑張っていきたいと思っております。

6月度もやはり新型コロナ関連の支援が多くなっていましたが、今後もその傾向は続きそうです。特に資金調達や補助金においては政府から次々に支援策が出ているので専門家である我々も情報のアップデートが追いつかないくらいです。倒産や失業者を減らすために政府も様々な支援策を打ち出しているのが分かります。あとはこれらの制度が中小企業に速やかに行き渡っていくことを願うばかりです。

さて、そのような中ですが最近少し気になっていることがあります。それは経営者も幹部も一般社員も「新型コロナの影響」という言い訳が「癖」になっていることです。確かにこれまで経験したこともない厳しい外部環境ですので、気持ちはわかります。しかし、新型コロナの影響が出る前から赤字体質、債務超過である会社でも「新型コロナの影響」を業績低迷の原因にする方もいらっしゃいます。(気持ちは十分にわかるのですが・・・)

しかし、言い訳ばかりしていて問題を直視しないのでは状況は改善されません。厳しい環境下においても現状を把握し、重点課題を設定し、行動に移すことが大切です。そのためには全社一丸となって共通の目標に向かって邁進するという風土・社風が求められます。社風と言えば、私は1ヶ月に20～30社程度の企業を訪問させていただいているのですが、その建物や敷地に入った瞬間にその企業の“空気”を感じるのです。活気がある、明るい、暗い、社員同士の仲が悪いなど様々な感情が入った空気です。それが社風だと思うのです。もちろん社風という名の固有の空気があるわけではありませんが、確かにそこに感じるのです。その空気の正体はそこに所属する個人が醸し出す空気の総和だと思うのです。

この社風の良し悪しによって業績も決定されていると言っても過言ではありません。年間400件の訪問件数がある私が感じているので間違いありません(笑)。話を戻しますが、新型コロナの影響を受けて業績が著しく低迷した企業は今こそ業績の改善に取り組みながら社風の改善も同時に進めるチャンスだと思ってください。「新型コロナに立ち向かう」という分かりやすい共通目標があるわけですから一致団結するための動機としては十分です。新型コロナを言い訳の材料にせずビジネスモデルの見直しや組織の活性化などのエネルギーの源泉として捉えてみてはいかがでしょうか。



⑥ 新型コロナ対策資本金劣後ローン (日本政策金融公庫) 中小企業診断士 木戸貴也

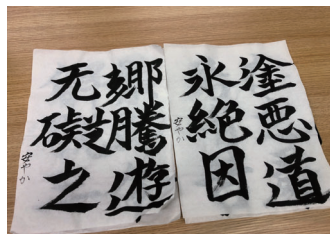
こんにちは。中小企業診断士の木戸です。令和2年度第2次補正予算には、新型コロナ対策資本金劣後ローンという融資制度があります。資本金劣後ローンは、借入金でありながら金融機関からは自己資本とみなされる特殊な融資です。自己資本とみなされることで、民間金融機関から融資を受けやすくすることを目的としています。詳細は未決定ですが、この制度を利用するためには認定支援機関の指導を受けて作成した事業計画書などが必要となります。7月から事前相談を開始し、8月上旬から取扱いを開始予定です。資本金劣後ローンをご検討の際は、弊社までご相談ください。

⑦ 会議体を見直す 中小企業診断士 木戸貴也

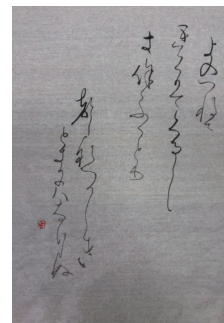
弊社の会議体は、月次会議(＋社内勉強会)、週次会議、業務打合せに分かれています。それぞれ目的や議題は異なりますが、ベースとなっているのは弊社の経営方針書です。社長も含めて全員が決められた事前準備、資料作成が出来た状態で会議に臨んでいます。なので、ダラダラ時間だけが経過することはなく、効率的な会議運営ができています。会議をしていない会社もありますが、社長の考えや会社の方針を周知する、計画・業務の進捗状況を把握する、社内コミュニケーションを円滑にするためにも会議体を見直してみてもいかがでしょうか。

⑧ 週に一度の習い事 事務担当 松野あやか

こんにちは、事務員の松野です。私は、小学校3年生から地元の小さな教室で習字を習っています。学生の頃は学校を終えてから毎週水曜日に行っていましたが、今は土曜日の午前中に行っており、主に、漢字・仮名・条幅・硬筆の4種類をしています。習字を習っていてよかったことは、字がきれいになることはもちろんですが、集中力が上がったことと私にとって習字の時間は何も考えず、全神経を注ぐことができることです。地元の子供たちも習っており、読み方や漢字を教えることもあり、子供たちが幼稚園や小学校の出来事なども話してくれて毎週子供たちに会うのも楽しみです。今は、師範を取れるように毎月提出する作品と年に1回の試験のために頑張っています。



↑中国古典書道から学んでいます。



細い筆を使い、一行を一筆で書き切ります。↑



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-8-2 三見ビル2階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ

♡いいね! お待ちしております。



株式会社フラッグシップ経営 Twitter

@flagship_keiei にて随時情報発信中!

